

[現在、富士山静岡空港では、大規模盛土工事を伴う滑走路端安全区域の拡張工事(=RESA工事)を行っています。]  
[この回覧板は、RESA工事に関するお知らせを定期的に情報提供するための回覧板兼広報紙です。]

Topic

現場見学会を開催しました。

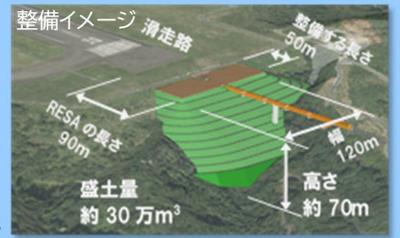
5月14日(水)に静岡理科大学土木工学科1年生22名がRESA工事現場を見学しました。

当日は現場事務所にて空港とRESAの概要について説明後、現場にて盛土の説明と重機や機器等の紹介をしました。学生は興味津々に話を聞いており、積極的に質問している様子が見られました。実際の現場を見て触れたことで、土木工事について理解を深めることができたのではないのでしょうか。

今後も折を見てこのような機会を設けてまいります。

滑走路端安全区域 (RESA) とは

RESAは、滑走路端安全区域(Runway End Safety Area)の略称で、航空機が離着陸するときに滑走路を超えて走行し停止してしまう「オーバーラン」等を起こした際に航空機の損傷を軽減させるため滑走路の両端に設けられる区域のことを言います。富士山静岡空港では空港東側のRESAが新たな国際基準に適合するように拡張工事を行っています。



概要説明



重機と機器の紹介



盛土の説明

RESA 施工状況

現在、上載盛土工事に着手しており、令和7年6月中旬時点で全11段のうち、4段目までの施工が完了しています。現場及び運搬ルート近隣の皆様にはご迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いします。



R7.6.17 撮影

上載盛土  
(現在施工中)

RESA 全体横断面図面(R7.6月中旬時点)

